

Port of Kitakyushu

HIBIKI

■ ひびきコンテナターミナル





ひびきCT背後地への企業進出動向(平成19年以降)

①	エコマテリアル	プラスチック用物流施設
②	ミクニテック	規格外タイヤ用物流施設
③	ひびき国際物流センター	倉庫等物流施設
④	上組	※ 倉庫等物流施設
⑤	寿工業・アジア特殊製鋼	鍛造用鋼塊製造
⑥	西部ガス	※ LNG受け入れ基地
⑦	ブリヂストン 北九州工場	超大型及び大型建設車両用タイヤ製造
⑧	日本ロパロ	大型ベアリング成型材料製造
⑨	いその	プラスチック成型材料製造
⑩	フジコー	※ 光触媒関連製品製造
⑪	大阪精工	※ 冷間圧造用鋼線製造
⑫	サンロックオーヨド	鉄線伸線・加工
⑬	東邦チタニウム	※ スポンジチタン製造

※ 22年度以降順次操業予定

ひびきCTの生み出す「創貨」効果。

ターミナルの供用開始以来、総投資額約1,500億円、新規雇用約1,000人にも及ぶ企業進出が続いており、これら企業からの「創貨」貨物を取り込んでいくことで、更なるターミナル利用促進を図ります。

企業進出が進む響灘地区

ひびきコンテナターミナル

【特長】

- アジア・日本・北米を結ぶ日本海ルート上に位置する港
- 近隣地方港とアジアを結ぶ西日本の積替え拠点港
- 大型船の寄港に適した大水深岸壁(-15m)を有する港
- -10m岸壁を多目的バースとして暫定活用
- ターミナル背後地に広がる安価で広大な産業用地



【施設概要】

項目	内容	
立地場所	北九州市若松区響町三丁目地先	
岸壁	水深	水深15m 水深10m
	バース数	2バース 2バース
	延長	700m[350m×2バース] 340m[170m×2バース]
構造形式	ハイブリットケーソン, RCケーソン RCケーソン	
ターミナル面積	約39ha	
荷役方式	トランスファークレーン方式	
ガントリークレーン	オーバーバナマックス	3基(18列対応)
ヤード内荷役機械	トランスファークレーン	7基
	トラクターヘッド	7台
	ヤードシャーシ	11台等
その他施設	管理棟	1棟
	メンテナンスショップ	1棟
	マリンハウス	1棟
	ゲート	10レーン[IN:6, OUT:4]等
オペレーションシステム	コンピュータシステム	1式
	通信システム	1式
	ゲートシステム	1式等
最大積積個数	ドライコンテナ	22,464TEU 4段積
	リーファーコンテナ	324個・3段積



ガントリークレーン



トランスファークレーン

臨海部物流拠点の形成に向けて



(仮称)ひびきロジスティクスパーク

- ひびきCTならではの、物流に特化したエリアを段階的に構築。
- 規制緩和等により無ナンバー車両の走行、特殊車両による貨物搬送を可能とし、物流効率化、コスト削減に寄与。



多目的倉庫、企業物流センター等の集約を図る。

